

安全データシート(SDS)

1. 化学品及び会社情報

化学品等の名称	超好熱菌 dUTPase
製品コード	EL006-01, EL006-02
供給者の会社名	合同会社eLANT
住所	大阪府大阪市北区梅田1-1-3 大阪駅前第3ビル 29階 1-1-1号室
電子メールアドレス	info@elant.co.jp
推奨用途及び使用上の制限	試験・研究以外に使用しないでください

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	爆発物	-	
	可燃性ガス	-	
	エアゾール	-	
	酸化性ガス	-	
	高压ガス	-	
	引火性液体	-	
	可燃性固体	-	
	自己反応性化学品	-	
	自然発火性液体	-	
	自然発火性固体	-	
	自己発熱性化学品	-	
	水反応可燃性化学品	-	
	酸化性液体	-	
	酸化性固体	-	
	有機過氧化物	-	
	金属腐食性化学品	-	
	鈍性化爆発物	-	
	健康に対する有害性	急性毒性(経口)	-
		急性毒性(経皮)	-
		急性毒性(吸入:気体)	-
急性毒性(吸入:蒸気)		-	
急性毒性(吸入:粉じん、ミスト)		-	
皮膚腐食性/刺激性		-	
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性		区分2B	
呼吸器感作性		-	
皮膚感作性		-	
生殖細胞変異原性		-	
環境に対する有害性	発がん性	-	
	生殖毒性	-	
	生殖毒性・授乳影響	-	
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	-	
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	-	
	誤えん有害性	-	
	水生環境有害性 短期(急性)	-	
	水生環境有害性 長期(慢性)	-	
	オゾン層への有害性	-	

注:上記記載の - は、分類対象外または分類できないことを示す。

GHSラベル要素

注意喚起語	警告
危険有害性情報	H320 眼刺激
注意書き	-
安全対策	P264 取り扱い後は顔や手など、ばく露した皮膚を洗うこと
応急措置	P337+313 目の刺激が続く場合は、医師の診断、手当を受けること
保管	P305+P351+P338 眼に入った場合、水で数分間、注意深く洗うこと
廃棄	-
他の危険有害性	-

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

組成物質名	CAS登録番号	化審法官報公示整理番号	安衛法官報公示整理番号	濃度又は濃度範囲(%)
Tris-HCl (ph8.0)	特定されていない	-	-	30mM
EDTA	特定されていない	-	-	0.05mM
グリセロール	56-81-5	-	-	50%(v/v)

超好熱菌 dUTPase	特定されていない	-	-	0.4μM
4. 応急措置				
吸入した場合：	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。呼吸が弱かったり止まっている場合は、衣類をゆるめ呼吸気道を確認した上で人工呼吸を行う。必要に応じて医師に連絡する。			
皮膚に付着した場合：	直ちに多量の水と石鹸で洗う。必要に応じて医師に連絡する。			
眼に入った場合：	直ちに水で最低15分間洗う。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。速やかに医師の処置を受ける。			
飲み込んだ場合：	水で口の中を洗浄する。必要に応じて医師に連絡する。			
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状：	知見なし			
応急措置をする者の保護に必要な注意事項：	ゴム手袋と密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。			
医師に対する特別な注意事項：	物質へのばく露の影響が遅れて現れることがある。			
5. 火災時の措置				
適切な消火剤：	粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素、乾燥砂、霧状水			
使ってはならない消火剤：	特になし			
火災時の特有の危険有害性：	火災の際、熱分解又は燃焼により刺激性及び/又は有害性の強いガスが発生するおそれがある。			
特有の消火方法：	速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合には、容器及び周囲に散水して冷却する。消火作業は、屋上から行う。			
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置：	消火作業の際は、適切な保護具を着用する。			
6. 漏出時の措置				
人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：	関係者以外の立ち入りを禁止する。作業の際には適切な保護具を着用する。			
環境に対する注意事項：	漏出した製品が、河川などに排出され、環境へ影響を起さないよう注意する。			
封じ込め及び浄化の方法及び機材：	少量の場合、乾燥砂・土・適切な吸収剤などに吸収させて、密閉できる空容器に回収する。大量の場合、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いて回収する。			
7. 取扱い及び保管上の注意				
取扱い 技術的対策：	容器に過度の衝撃を加える、転倒させる、落下させる、又は引きずるなどの粗暴な扱いをしない。取り扱いには換気の良い場所で行う。適切な保護具を着用する。			
安全取扱い注意事項： 接触回避：	適切な保護具を着用し、使用後は容器を密閉する。局所排気・全体排気を行う。 データなし			
保管 安全な保管条件： 安全な容器包装材料：	-20℃～-25℃ ポリエチレン、ポリプロピレン			
8. ばく露防止及び保護措置				
管理濃度 許容濃度： 日本産衛学会： ACGIH： 設備対策：	未設定 未設定 未設定 蒸気やミストが発生する場合は、発生源を密閉し、局所排気装置を設置する。			
保護具 呼吸用保護具： 手の保護具： 眼、顔面の保護具： 皮膚及び身体の保護具：	保護マスク 保護手袋 保護眼鏡 長袖作業着			
9. 物理的及び化学的性質				
物理的状态 物理状態： 色： 臭い： 融点・凝固点： 沸点又は初留点及び沸点範囲： 可燃性： 爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界： 引火点： 自然発火点： 分解温度： pH： 動粘性率： 溶解度： n-オクタノール／水分配係数(log値)：	液体 無色 無臭 データなし データなし データなし データなし データなし データなし 8.0 データなし データなし データなし			

蒸気圧:	データなし
密度及び/又は相対密度:	データなし
相対ガス密度:	データなし
粒子特性:	データなし
その他データ:	データなし
10. 安定性及び反応性	
反応性:	データなし
化学的安定性:	予期される通常の保管及び取り扱いの条件において安定と考えられる。
危険有害反応可能性:	通常の処理ではなし
避けるべき条件:	日光、熱
混触危険物質:	データなし
危険有害な分解生成物:	データなし
11. 有害性情報	
グリセロールについて記載	
急性毒性(経口):	LD50>5,000mg/kg
急性毒性(経皮):	LD50>5,000mg/kg
急性毒性(吸入:気体):	データなし
急性毒性(吸入:蒸気):	データなし
急性毒性(吸入:粉じん、ミスト):	データなし
皮膚腐食性/刺激性:	ウサギ 軽い皮膚刺激
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性:	ウサギ 軽い眼刺激
呼吸器感受性:	データなし
皮膚感受性:	ひとパッチテスト 陰性
生殖細胞変異原性:	データなし
発がん性:	データなし
生殖毒性:	データなし
特定標的臓器毒性(単回ばく露):	データなし
特定標的臓器毒性(反復ばく露):	データなし
誤えん有害性:	データなし
12. 環境影響情報	
グリセロールについて記載	
生態毒性:	水生環境有害性(短期/急性) 区分外 水生環境有害性(長期/慢性) 区分外
残留性・分解性:	分解度 63% by BOD、94% by TOC、100% by GC
生態蓄積性:	データなし
土壤中の移動性:	データなし
オゾン層への有害性:	データなし
13. 廃棄上の注意	
残余廃棄物:	排気するには多量の水で希釈し処分する。その際は関連法規並びに地方自治体の条例に従うこと。または、都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者に委託処分する。
汚染容器及び包装:	空容器を排気する場合、内容物を完全に除去した後に処分する。
14. 輸送上の注意	
国際規制	
国連番号:	該当なし
海洋汚染物質:	該当なし
国際規制	
海上規制情報:	ADR/RID 規制されていない
航空規制情報:	IMDG 規制されていない
陸上規制情報:	ICAO/IATA 規制されていない
国内規制	
海上規制情報:	該当なし
航空規制情報:	該当なし
陸上規制情報:	規制なし
特別な安全上の対策:	運搬に関しては容器に漏れないことを確かめ、店頭、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実にを行う。
15. 適用法令	
グリセロールについて記載	
労働安全衛生法	危険有害化学物質等(規則第24条14) 特定危険有害化学物質等(規則第24条15)
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)	非該当
毒物及び劇物取締法	非該当

化審法	非該当
消防法	非該当
海洋汚染防止法	非該当

16. その他の情報

本データシートは試薬に関する一般的な取り扱いを対象にしたものであって、特殊な取り扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。
記載内容のうち、含有量・物理化学的性質の値は保証値ではありません。
また、本記載内容は新しい知見によって改訂されることがあります。

[注意] 本SDSはJIS Z7253:2019 に準拠して作成しています。